



児島小学校の自校給食が終了します。

教育委員会から保護者連絡帳を通じてお知らせした通り、1学期末で自校給食が終了します。

児島小学校の「学校沿革史」を読み解いてみると、「昭和28年 給食場新築」という記述があり、前身の給食場が建てられました。続いて「昭和35年 給食場改築」とありました。

さらに「昭和45年 給食場新築」との記述があり、全面的に建て替えられて現在の給食場の基礎になりました。そして「昭和55年 給食場増改築工事」とあり、現在の姿となって今に至っています。

長い歴史のある自校給食が終わってしまうのは非常に残念ではありますが、2学期からは「児島学校給食共同調理場」にて最新の設備を使用して調理された給食が提供されることになります。

子どもたちには、栄養教諭と5人の調理員の先生方が力を合わせて安心・安全な給食を調理していることを念頭に置き、残り少ない自校給食の機会を大切にしてほしいと思います。「いただきます」「ごちそうさまでした」のあいさつを元気にする、無理のない範囲でしっかり食べて残菜を少なくするなどして、感謝の気持ちを伝えてほしいです。

なお、「学年だより」にてお知らせしておりますが、改修工事の関係で7月15日（火）で1学期の給食は終了します。16日（水）と17日（木）は、お弁当を持参していただくことになります。御面倒をおかけしますが、ご対応のほどよろしくお願いいたします。



1～3ねんせい

なぞのさんすう なぞなぞ

4～6年生

100円玉のまわりを、もう一つの100円玉が
ぐるりとまわると、なんかいてんするでしょうか？

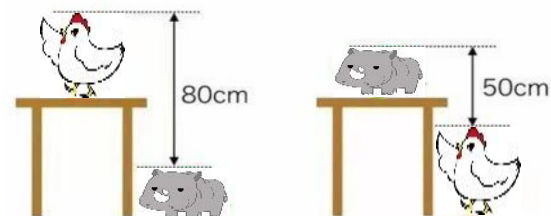


この100円玉は、
なんかいてんするかな？



こび

机の高さは、何cmでしょうか？



かさねて
みると
・・・



運動会、素晴らしい姿をたくさん見せてくれました。 改めてお礼を言います。「ありがとうございました!」

5月24日（土）に予定されていた運動会でしたが、雨天のため、翌日25日（日）に順延されました。早い職員は朝5時から運動場を整備し、なんとか開催することができました。保護者の皆様にはご心配をおかけしましたが、当日はたくさんの方にお越しいただき心より感謝申し上げます。開催の変更にともない、ご都合を調整してくださり、ありがとうございました。

子どもたちは「7日連続の登校」にもかかわらず、元気いっぱいに参加し、素晴らしい姿を見せてくれました。一生懸命に走り、バトンをつなぐ姿が感動的でした。ダンスやソーラン節・組体操では、仲間と協力し合いながら心を一つにして演技する姿が印象的でした。

私としては、「子どもたちの一生懸命な姿」を見ることができなんて、お金では得られないこの上ない感動です。こんな姿を見せてくれて、閉会式では自然と「ありがとうございました」とお礼の言葉が出てしまいました。先日の「海の学習」での Cutter 訓練でもそうでしたが、子どもたちの「一生懸命な姿」「必死な姿」「喜ぶ姿」というのはいいもんですね。

写 真

写 真

写 真

「行事で鍛えた力は、生活で生かす」

運動会は、小学校での大切な行事の一つです。学級担任たちは4月の中ごろから計画や準備を進め、ゴールデンウィーク前後から練習を始めました。その間、子どもたちは長い時間をかけて練習に励みました。ダンスでは表情や手足の動きが見る見る上手になっていき、みんなで動きをそろえて可愛さから格好よさまで学年に応じた表現力が身に付きました。また、競走では、しっかり手と足を動かして全力で走る経験をしたり、勝負に「勝った、負けた」を素直に認め合ったりして、体力とスポーツマンシップの高まりが見られました。運動会ならではの体力と精神の鍛錬です。

また、毎年リレーやソーラン節をしますが、見た目は同じでも「役割を変えて取り組む」とか「自分の高まりを確認する」などの目的をもち、発達段階に応じた繰り返し学習を行います。毎年、体力テストをするのも同じ理由ですが、過去の自分と比較することで、どこが伸びた、どこが深まったと自己分析をすることができます。指導者も過去の反省を生かし、さらに効果的な指導を行うこともできます。6年生が5年生にソーラン節や組体操を教えている場面は、とても美しい姿でした。

さらに、「先生の話をよく聞き、1回で理解する」とか、「友達と楽しいまたは悔しい思いを共有する」とか、「短い時間でサッと着替え、シュツと移動して、パツと整列する」とか、人間力の高まりも見られました。これらの力は運動会に限らず、どの場面でも必要となる力です。

運動会を「ただのイベント」とするのではなく、教育活動の一環としてとらえ、行事で鍛えた力をふだんの生活で使いこなしていくよう指導に努めます。